



国際ロータリー第2610地区
南砺ロータリークラブ



クラブ会報 **なんと**

NO. 2652

URL <http://www.nanto-rc.jp>

E-mail office@nanto-rc.jp

例会日/火曜日 12:30点鐘 例会場/福光会館2Fサークルルーム1 ◆事務局/富山県南砺市福光7336-4 ぶくみ光苑 ☎ 0763-53-1333 FAX 53-1334

尾山裕和会員撮影



第2713回例会 令和6年10月8日(水)小雨 17℃

- ◆点 鐘 12:30 久患龍三会長
- ◆司 会 谷村賢治SAA
- ◆ソング 「奉仕の理想」

◆会長の時間 久患龍三会長
去る10月5日、輪島RCと珠洲RCへ災害支援物資を届けに行ってきました。



能登災害被害状況=10/5

(建物が車の上に乗っかっている)

1月の震災時に引き続き、長崎北RCの崎永PGから提供戴いたレトルトマトカレー1000食と、当クラブで用意した米菓1000袋余りを、両クラブの会長さんに直接手渡しをしました。両クラブでは会員と事務局及び関係者に分配すると伺っております。支援物資が直接皆さんの手元にお届けすることができ一安心です。

今回、能登里山海道からアクセスしました。徳田大津を過ぎた辺りから、震災の影響が色濃く残っており、谷を埋めて作った所はことごとく陥没しており、辛うじて2車線を確認していますが、橋の継ぎ目は大きな段差が残っており徐行運転を余儀なくされているのが現状です。能登空港ICを降りて珠洲へ向かって一般道に入ると割とスムーズに通ることができました。珠洲の中心市街地は水害の影響はさほどなかったように見えたのですが、市内は閑散としており、残念ながら復興への息遣いは余り感じることはできませんでした。続いて豪雨で崩れた山肌や川の氾濫による流木を横目に見ながら輪島市内へ向かいました。

輪島市内は4月に炊き出しで訪れた時より倒壊家屋の解体も進み、道路もかなり復旧してありました。が、仮設住宅もほぼ完成し、「さあこれから」と歩み始めるところに豪雨が輪島と珠洲を襲いました。被害の詳細は報道の通りですが、自然災害の無慈悲さと人間の無力さをあらためて思い知らされました。

「なんで私らばかりこんなひどい目に遭わんなが！」が能登の皆さんの本音だと思います。皆さんの心が折れてしまわないかとても心配です。能登半島へは物心共に継続的な支援がまだまだ必要です。今回は物資を届けるだけの支援でしたが、ロータリアンとして何ができるのか皆で知恵を出し汗をかきましょう。

大徳寺大仙院の尾関宗園和尚の名言

「今こそ出発点、今頑張らずにいつ頑張る」

◆理事会報告 森 悦夫幹事

- ①ブルゾン集金の件(一人25,000円徴収)
 - (ア)ポロシャツ分を含め11月に25,000円徴収を承認。
 - (イ)ポロシャツは来年5月頒配布予定。
- ②次々年度会長指名委員任命の件
 - 〈指名委員〉久患、石崎和三、木村、古瀬、木勢、川合の各君6名の任命を理事会にて承認。

彼岸花と医王山

- ③能登半島水害支援予算先決の件
 - (ア)支援物資に日の出屋製菓、丸米製菓からの「おかき」購入費用と交通費で概略10万円支出執行で理事会承認。
- ④富士見RC様50周年記念式典日程の件
 - (ア)12月7日(土)・8日(日)の2日間。新高岡発9:31で移動予定。
- ⑤第2610地区提唱の能登半島豪雨災害支援金の件
 - (ア)1,000円×45名を11月に徴収し+会からの補助で10万円とし、支援する事を理事会承認。

◆幹事報告 森 悦夫幹事

- ①ガバナー事務所からの案内の件
 - (ア)地域社会の経済発展月間リソースの案内
 - (イ)上記能登半島豪雨災害支援金の送金について。
 - 送金メ切…2024年12月27日(金)
 - (ウ)RAC研修会開催の案内 ○2024年11月16日(土)
- ②能登豪雨災害支援物資のお届け
 - (ア)10月5日(土) 輪島RC池端会長、珠洲RC泉谷会長宅に訪問。
 - (イ)訪問者 久患会長・古瀬君・鮫島君・吉田美花さん・森幹事の5名
 - 長崎北RC 崎永バスターガバナーより、レトルトカレー1,000箱
 - 丸米製菓、日の出屋製菓のおかき 各約800袋。
 - (ウ)輪島RC池端会長より10月7日礼状を拝受いたしました。
- ③小矢部ロータリークラブ事務所移転の案内
 - (ア)新住所 932-0053 小矢部市石動町4-25 める・びる 3階
 - (イ)新電話番号 080 8062 0118 FAX・メールアドレス変更なし。

◆委員会報告

- R情報・雑誌委員会 古瀬喜八郎委員長
 - 「友」10月号の紹介。5P、RI会長はポリオ根絶という目標に向け、様々な活動の一部を紹介し、パリ五輪でも「エンド・ポリオ」の認知度向上に貢献する姿に感動。チームの力が必要です。と訴えています。
 - 7P、「名士の足跡と、ロータリークラブ」各地の名士の足跡を「地域の経済発展」に紡ぐ活動を発信。8P、**米山梅吉**・静岡県長泉は多くの伝説が残る町で、4月28日「米山梅吉デー」では奉仕の心を学んでもらう様々なイベントで米山記念館を積極的にPRしている様子など。
 - 10P、**渋沢栄一**・埼玉県深谷は肥沃な土地での農業、良質な粘土の瓦や煉瓦造り、また駅前のからくり時計や新紙幣のことなど。
 - 12P、**福澤諭吉**・大分県中津では、軍師官兵衛が築城し、茶人三斎が完成させた中津城。奥平氏の居城にして、蘭学に極端に傾倒した。福澤や多くの医学者の先駆者を輩出した歴史、人材の育成を通じて未来を築く重要性を示している。
 - 22P、**国際大会カルガリー**への誘い(2025年6月21日~)特徴と歴史、世界遺産から味覚など。
 - 縦9P、この人訪ねて「本名孝至」さん、国生み伝承縁の神社に下命赴任した一徹の宮司のお話です。是非ご一読ください。以上です。

★ニコニコボックス 10/8 吉田美花委員長

- 久患君 能登半島、みんなで応援しましょう。
- 船藤君 社長変わりました。在任中は大変お世話になりました。ありがとうございます。後任の社長もよろしくお願いします。
- 川合君 珠洲、輪島への支援物資届け有難うございました。現地写真を送っていただき、今回の豪雨災害があまりにもひどい。支援の継続が必要だと改めて思います。
- 古瀬君 10/5珠洲、輪島に行ってきました。現地は大変です。
- 吉田美君 久患会長、森幹事他3名で支援物資を届けに行きました。古瀬さん、鮫島さん、安全運転有難うございました。
- 尾山君 珠洲、輪島RCへ支援物資運搬訪問、ご苦労様でした。
- 石崎雄君 珠洲、輪島RCへの支援物資お届けお疲れ様でした。少しでも被災地の方には元気になって貰えればと思います。
- 木村君 10/5の能登への物資を運ばれて大変ご苦労様でした。
- 上坂君 支援物資を届けられたみな様、おつかれ様でした。
- 鮫島君 急に涼しくなりました。カゼひかないように頑張ります。
- 高瀬君 急に寒くなってきました。半袖、長袖迷いますね。
- 榊君、牧君/ 輪島、珠洲へ行かれた皆さん、お疲れ様でした。川合さんの卓話楽しみです。
- 荒井君 川合会長様、創業100周年おめでとうございます。
- 石崎和君 川合会長、卓話楽しみ。100周年おめでとうございます。
- 松本君 滅法涼しく、布団の温かさを感じる季節になりました。



コロナパンデミックを転機として
 ~ 試練は変わるための呼びかけ ~
 日の出屋製菓産業株式会社 代表取締役会長 川合声一

2020年から始まったコロナパンデミックは日の出屋製菓にとって会社改革のきっかけとなりました。

コロナ感染拡大は会社の急激な業績ダウンにつながり、どうしてもいかわからない恐怖に苛まれた時、長年師事しています高橋佳子先生のセミナーに薫をもすがる思いで参加しました。

コロナパンデミックという事態に対してどのように立ち向かうか、そこには暗転と光転の二つが混じりあった混沌とした状態カオスであり、そこには必ず好転の因子を導き出すことができるとの話を聞き勇気づけられました。

そこから改革のスタートでした。自らの内側を見つめる、その内側と現実と結びつける。三つの視点ー弱点の克服、前提の点検、挑戦の始動をスローガンテーマに商品の開発、販路の転換、長年にわたる上意下達の風土を打破する、これら具体的な取り組み

をする中で次々に新しい取引先、ヒット商品が生まれ、アフターコロナの時代を迎え、会社自体まったく生まれ変わってしまいました。

今年になり社長の立場を譲ることになり、事業承継の方も進めています。

会社概要

【会社名】 日の出屋製菓産業株式会社
 【本社住所】 富山県南砺市田中411
 【会社設立】 1954年3月2日（創業1924年2月26日）
 【事業内容】 米菓製造・販売
 【資本金】 8000万円
 【売上】 39億円（2024年2月期）
 【従業員数】 330名（正社員200名）

JR金沢駅内 当社商品の陳列状況（2015年）



この売り場だけで年間売上約1億円

開業翌年の2016年には過去最高益を記録

新幹線パッケージ 売れ行き急増

日の出屋製菓産業（南砺市）が生産し、パッケージが北陸新幹線の車両の形をしたせんべい「かがやき しるえび小判」II写真IIの売れ行きが大幅に伸びている。従来の出荷数月平均1万個弱だったが、今年3月は7万個となり、注文増で生産が追いつかないこともあった。同社は今後も月3万4千個で推移するとみており、新幹線効果が現れている。

「かがやき しるえび小判」は2013年12月に発売。立山町の工場（生産1箱64個）で5000円（税別）となっている。

同社によると、今年2月までは従業員3、4人が箱詰め作業に従事していたが、3月は最大10人を

作業に当て、増産を図った。新幹線開業に合わせ、従業員は取引のなかった企業や業界からも引き合いが増えた。東京の企業から顧客への土産用に大量発注があったほか、首都圏の食品スーパーなどで販売する店舗も増えている。川合洋平営業第一部長は「100%富山県産の米を使用したせんべいの販売を伸ばしたい」と話した。

3月の出荷数、平均の7倍

2020年 コロナパンデミックが発生
 （北陸新幹線 開業5年後）

2021年 コロナ禍に打ち勝つための基本的心構え

八方ふさがりの不安や恐怖、そこからの逃避の気分、考えから抜け出て『やれることは全部やる』

【転換】 試練の時こそ、心の持ち様にエネルギーをチャージする言葉

- すべての出来事には意味がある
- 幸運は準備された心に訪れる
- 因縁なきところに果報なし（果報あるところに因縁あり）
- 試練は呼びかけ
- 必ず1本の白い道がある（最善の道がある）
- そうだとすると、こうすることもできる
- やるだけやったら後は托身
- 逃げない・捨てない・あきらめない
- 念ずれば嵐は過ぎ去る。念ずればいのちの花開く

※因縁＝心の持ち様(因) ※環境条件(縁)

Copyright © GLA, 高橋 佳子

前例主義からの脱却

マルチブランド戦略による新販路展開

みこめらっや

（今回の会報担当：川合声一）

本日のプログラム 10月22日(火) 第2714回例会
 米山記念奨学会セミナー
 担当 谷村修基委員長

◆出席報告 上坂英伸出席委員長

会員数	10月8日出席率	9月17日(修正)
45 (免除1)	64.44% (出29)	64.44% (出29内メ-フ3)

メ-キャップ：なし

次回の予定 11月5日(火) 第2715回例会
 ロータリー財団セミナー
 担当 安居利浩委員長